

BplatsをAI駆動開発に 全面移行した4か月の実体験

ビープラッツ株式会社

アジェンダ

- AI駆動開発前の状況
- 我々のペイン
- 当初期待していたこと
- 実際の取り組みの結果分かったこと
- まとめ

当社の業務

Bplats

サブスクリプション統合プラットフォーム「Bplats」の開発・運営

= エンタープライズ向け SaaS ベンダー

DevOps体制

Dev
50%

:

Ops
50%

アプリケーションの開発状況

約9,000ファイル / 月間 15~40名体制 (2019年~)



開発環境

IDE: PhpStorm→**VS Code**

ローカル環境: Docker
→**WSL2 + Docker**



管理ツール

ソース管理: **GitLab**

バグトラッカー: **Redmine**



AIツール

(エージェント: **Claude Code**)

サポータイプ: **Gemini**

我々のペイン①：開発ドキュメントの不備

⚠ 散逸・未更新

ドキュメントが存在しない、または古いまま

⚠ 秘伝のタレ化

重要な仕様がベテランの頭の中にしかない

⚠ リソース不足

整備し直す時間も人もない

我々のペイン②：スケールしない組織



極度の属人化

影響範囲や修正箇所はベテランのみぞ知る



ベテランの生産性＝組織の生産性

新人はベテランに都度聞くしかない状態



組織の限界

入れ替わりによりベテランが増えない

我々のペイン③：運用における「詰まり」

📌 サポートの限界

CS・QA用ドキュメントだけでは解決困難

📌 開発者（PG）経由の必須化

仕様確認・調査のすべてがPGに集まる

📌 Ops全体のボトルネック

結果としてPGでの「詰まり」が全体を停滞させる

当初 AIに期待したこと

全解析

ソースコードを精緻に読み解く

目的は「詰まり」の解消

各種ドキュメントを生成し、手引き書を充実させることで、属人化とボトルネックをなくす。

💡 「コーディング支援」による省力化は一番の目的ではなかった

我々のAIへの取り組み

2025年12月より クウジット社と活動開始



**1. ソースコードの
全解析**



**2. 開発環境の
刷新**



**3. サポートツールの
作成**

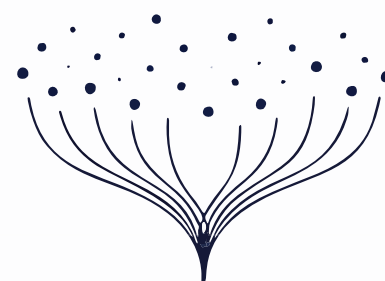
1. ソースコードの全解析

⚠ 単に読ませるだけではハルシネーションが発生

💰 差分制御なしではトークン消費が跳ね上がる

🔧 課題克服のための「専用ツール化」を選択

✅ 新メンバーの参考になるドキュメントを生成



AMANEX

このツールが後に
「AMANEX」となる

2. 開発環境の刷新

実現したこと

生成したドキュメントをAIが再帰的に参照し
仕様問合せ・依存性調査・修正提案が可能に



コーディング支援から仮想環境チェックまでを
シームレス化

※一足飛びではなく、徐々に出来ることを拡大

重要な気づき

AIによるコーディングアシスト＝AI駆動開発
「ではない」

**開発に伴うペインをAIで解決することこそが、
「AI駆動開発」の要諦**

3. サポートツールの作成

- ワークフロー・ルール・品質基準の統一が必要
- AIが再帰的に読めるよう「ドキュメントをコード化」
- ソース同様にレポジトリ管理し、バラつきを排除
- これら知見を『AI駆動開発ガイドライン』として公開予定

実際のGain①

当初の期待

ドキュメント自動生成

ソースコードを全解析して各種ガイド類を自動生成し、各所の詰まりを解消する



実際のGain

ツール「AMANEX」の誕生

巨大なソース群の場合、一筋縄ではいかない

→ 結果として解析・生成の専用ツールが生み出された

実際のGain②

😊 実は人間はドキュメントをそこまで読まなくてよかった

AIがドキュメント群を再帰的に参照できる環境が整ったため、
「AIを介して対話的に即時解決」するケースがほとんどに！

★ AI駆動開発により、開発の進め方自体を変えられる（変えていくべき）と実感

実際のGain③

- 開発者(PG)での「詰まり」が激減
- PMの領域が「調査・修正方針・見積り」まで手元で処理可能に拡大
- 逆にPGよりもPMが足りなくなる→組織のスケーリングが可能に

役割分担や組織の在り方そのものが変わる→変えていった方がよい

まとめ



ペインの減少

AI駆動開発により、開発の負債や課題は確実に減らすことができる



手法の多様性

推進手法に確立されたものではなく各社各様のアプローチに変化する



組織の進化

開発環境や進め方に留まらず組織の役割と在り方も変革する

Thank You!